

いろいろな使いかた

オート機能

ライト

やわらかライトを
使う/使わない

やわらかライト

便器内を照らすライトを
使う/使わない

便器内LED

きれいなサインを
光らせる/光らせない

きれいなサイン

1 メニュー/戻る
MENU/RETURN 押す

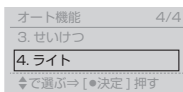


2 で「オート機能」
 を選ぶ



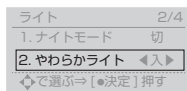
押す

3 で「ライト」
 を選ぶ



押す

4 で「やわらか
ライト」を選ぶ



5 で
「入/切」
を選ぶ

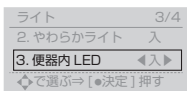


押す

やわらかライトを
切に設定しました

(戻るとき → メニュー/戻る
MENU/RETURN)

4 で「便器内LED」
を選ぶ



5 で
「入/切」
を選ぶ



押す

便器内LEDを
切に設定しました

(戻るとき → メニュー/戻る
MENU/RETURN)

4 で
「きれいなサイン」
を選ぶ



5 で
「入/切」
を選ぶ



押す

きれいなサインを
切に設定しました

(戻るとき → メニュー/戻る
MENU/RETURN)

その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)

水面下げる

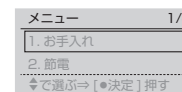
便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す

凍結防止

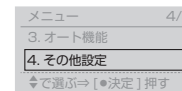
電子音を
鳴らす/鳴らさない

電子音

1 メニュー/戻る
MENU/RETURN 押す

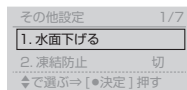


2 で「その他設定」
 を選ぶ



押す

3 で「水面下げる」
 を選ぶ



押す

便器内の水が流れて
低い水位でたまる

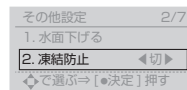
〈設定完了〉

(戻るとき → メニュー/戻る
MENU/RETURN)

お知らせ

- 検便時に使用するときは「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.28)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

3 で「凍結防止」
 を選ぶ



4 で
「入/切」
を選ぶ

<「入」に設定する場合>
設定すると約10分間隔で便器洗
浄して凍結を防止します。



押す

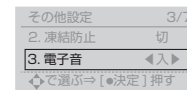
数分間隔で
便器洗浄し、必ず
設定する? はい はい を
選ぶ

押す

凍結防止を
入に設定しました

(戻るとき → メニュー/戻る
MENU/RETURN)

3 で「電子音」
 を選ぶ



4 で
「入/切」
を選ぶ



押す

電子音を
切に設定しました

(戻るとき → メニュー/戻る
MENU/RETURN)

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.28)「オートふた開閉」(RS1以外)(P.31)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

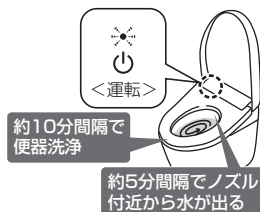
便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.37)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



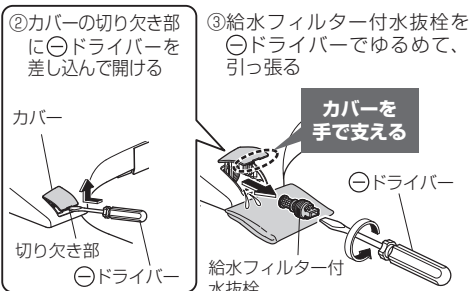
2 ノズルきれい WAND CLEAN 押す

- ・給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

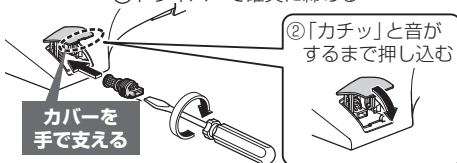
4 配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

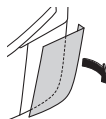
- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす



8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする(P.21)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを開めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.53)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結の恐れがあるときは、凍結予防を行ってください。(左記)(製品が破損する恐れ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.43)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

1 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき 止水栓または元栓を閉める(P.4)

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.52手順①)

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く(P.52手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

2 流す大 FLUSH を押してタンクの水を抜く※1

3 ノズルきれい WAND CLEAN 押す

- ・給水管の圧抜き

再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける(P.13) または、水抜栓を操作して、給水する

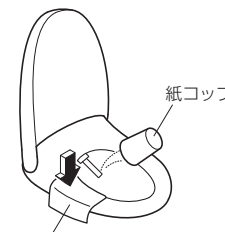
- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

3 ①ノズルから水を出す

- (1)便座の左側を押したまま、
- (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
- (3)手を便座からはなす



② 流す大 FLUSH 押す※1

- ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。))

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

4 便器に水がたまってから、もう一度 流す大 FLUSH を押す※1

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(RS1以外)